



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3023回 例会
プログラム
滝川市子ども発達支援センターの活動について
No.2835 3月23日(木)

次週以降の予定
3月30日(木)中空知定住自立圏
4月6日(木)火災予防行政の現況
4月13日(木)新理事会例会

第3022回 例会報告

2017年 3月16日(木)

副会長挨拶



①先々週もお話し致しましたが、雪解けが進み道路のあちらこちらに水溜まりが目立ってきています。車両による移動が多い会員の皆様におかれましては、事故は勿論、くれぐれも歩行者への水跳ね等にも注意を払って運転くださるようお願いいたします。
②先週予定してました新入会員の入会式が本日举行されますが、故西井会長の後継者として高橋賢司さんが入会されます。なんだか、肩の荷が下りたような思いを感じています。これからもよろしくお願いいたします。

幹事報告



①. 春の交通安全週間が4月に入ると始まります。街頭啓発「旗の波運動」のご案内を入り口に掲示させていただきましたので、みなさんご覧ください。
○4月6日(木) 7:45~8:15
北洋銀行交差点・川口時計店前・江部乙町12丁目交差点
○4月10日(月) 12:00~12:30
滝川市役所南側国道38号線沿い
○4月13日(木) 17:00~17:30
建設協会会館前

委員会報告

親睦活動委員会 石黒 安雅 副委員長

①本日開催の木曜フォーラム、先週々切りとお伝えしましたが、本日も出席参加の追加のみ受け付けます。是非とも予定の都合のつく方はご連絡ください。
②会員情報になりますが、新入会の山岸穰会員の息子がこの春見事に札幌医科大学に受験合格されたことをご報告させていただきます。

次年度幹事 鷲尾 昌法 会長

3月21日(火) 18:30より新委員長オリエンテーションをホテルスエヒロ3F フレスコにて開催いたします。対象の方(入会以降初めての委員長経験)は必ず出席ください。

新入会員入会式



(推薦者: 川口 義弘 会員)
高橋賢司さんを推薦させていただきます。先程神部副会長からもご紹介いただきましたが、故西井会長の後を承継(株)空知自動車学園の社長を務められています。昭和29年生まれ、2人のお子様がいらっしゃり、趣味は「映画鑑賞」と本人は書かれていますが、非常にお酒が好きな方で、当然強いです。



新入会員: 高橋 賢司 さん
西井会長の後継として、滝川RCへの入会のお話は以前からいただいていたが、この度、お世話になることとなりました。

どうぞよろしくお願いたします。「空知自動車学校」は主に運転免許の取得・高齢者講習・交通安全教室を行っております。特に、交通安全教室はこれまでに1500件開催し、交通事故を防ぎ、明るい社会を作るために少しでも貢献を続けていきたいです。また、これからは滝川RCの一員としても奉仕の意識を高め、日々精進していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。



先週のプログラム

【国際奉仕委員会担当例会】

ーゲスト卓話ー



国際奉仕委員会 竹田 行宏 委員長

本年度の国際奉仕委員会は、地区の国際奉仕活動は支えることは勿論、滝川市国際交流協会の活動を支えることが大きなテーマとなっております。そこで本日は事業の報告をいただき、滝川RCでの国際交流協会の動きへの理解を深めていただきまして、今後の事業への協力や参加へと繋いでいく布石としたい。本日の講師: 運上琢球氏は、スポーツ特にテニスで学生時代はご活躍され、滝川市役所に入られて以降は5箇所の部を経て、昨年4月より現在の産業振興部国際課 課長補佐に着任されています。プライベートでは全道のテニス連盟等の役員を務められ、スポーツの振興という面でもご活躍されています。

「滝川市の国際交流・国際協力について」

～滝川国際交流協会と共に歩んで～



滝川市産業振興部国際課 課長補佐

運上 琢球 様

本日は「①滝川市の国際交流・国際協力の変遷と現状」「②国際交流協会平成28年度事業」「③グローバル化と人材育成」の3点についてお話をさせていただきます。

①滝川における国際交流の歴史は、言い換えれば世界との関わりとなる訳で、その始まりは屯田兵の入植により切り拓かれたところから始まると言えます。次に1939年北海道人造石油が設立され、ドイツより2人の技術者を受け入れたことも関わりという点では見逃せない歴史です。また、アウトバウンド的な事例としては昭和30年代の南米移住も挙げる事が出来ます。

「国際交流」という面での動きは、1987年JET（語学指導等を行う外国青年招致事業）英語指導助手配置による外国人指導者全道8名のうち1名を受け入れることが出来たことが大きいです。そのことがきっかけとなり、1990年には滝川市国際交流協会が設立され、ジュニア大使の派遣、JET国際交流員が配置されました。

更に、1993年にはマサチューセッツ州スプリングフィールド市と姉妹都市提携が結ばれました。そして、JICA（国際協力機構）青年招へい事業の受け入れを開始によって、アフリカ・ベトナム・カンボジアからの農業研修受け入れが始められた。2010年には院大 北海道短期大学のアメリカへの短期留学も始まり、全面サポート。2015年にはモンゴルの農業研究員を受け入れが開始され、現在は3名を受け入れています。近年、一般社団法人に移行し、健全な運営を目指しています。



②平成28年5・6月期には滝川の菜の花祭に併せて、江戸乙町の道の駅にて国際屋台を初開催しました。国際色豊かな多国籍料理を提供しました。また、料理教室や季節のイベント、国学院大学北海道短期大学の「ありす祭」にも出店を行い、滝川市に住む皆さんに外国から来ている人達を紹介し、触れ合う機会を設け、国際感覚を育てることに重点を置いて活動しています。また、子ども達の国際感覚を育てるプログラムとして、ジュニア大使訪問団の派遣に加え、第2回『「国際田園都市」TAKIKAWAの20年後』プレゼンテーションコンテスト2014～私たちが切り拓くマチの未来～を開催。そして、農業支援のみならず、地方行政の在り方を含めた研修プログラムもミャンマーやモザンビークに対して実施しました。



③11月25日に開催した「世界を知る講演会」では、「NIPPONver.3.0」を目指す環境・人材の育成をテーマに非常に魅力的な時間を持つことが出来ました。また、スタディツアーでは、これからの日本画直面する問題に対して「世界」はどの様に対処しているのかを知る絶好の機会と位置づけています。さらに、滝川RC国際奉仕委員会様にもご支援いただいた「第2回『「国際田園都市」TAKIKAWAの20年後』プレゼンテーションコンテスト2014～私たちが切り拓くマチの未来～」では10チームによるプレゼンテーションが行われ、来たるべき未来に向けて学生達が新鮮な眼で見えて感じて、そしてイメージした姿を披露してくれました。※滝川高校 チームEcoDoragonの取り組み「エコ・サミットの開催」を動画で紹介。滝川市そして滝川国際交流協会は、これからも基幹

事業のJICA事業を受け入れつつ、グローバルな人材の育成、豊かな国際意識の啓発を行ってまいります。是非とも皆様におかれましては、ご協力・ご支援をお願いさせていただきまして、ご報告の時間を終えさせていただきたいと思っております。



滝川国際交流協会事務局次長

早坂 理世 様

この場をお借りして一言お願いをさせていただきます。どうぞ、皆様には国際交流協会の事業へのご理解を勧めさせていただきまして、交流協会にご入会いただきますようお願いさせていただきます。是非ともよろしくお願いたします。

最後に神部副会長からもひとこと

第2回『「国際田園都市」TAKIKAWAの20年後』プレゼンテーションコンテスト2014～私たちが切り拓くマチの未来～では滝川高校のチームが受賞しましたが、中学校からの参加チームも多数あり、非常に新鮮で健闘していたようにも感じました。これからの若い人達の活躍を心から期待したいです。



神部 洋史会員

西井会長の職掌分類が補填されて。

坂本 和繁会員

運上さんと早坂さんに感謝して。又、高橋会員、末永くよろしくお願いたします。

宮崎 英彰会員

山岸！おめでとう。うちの娘は、明治大学に入りました。

山岸 穰会員

息子の入学祝をいただいて。

前野 史賀会員

息子が今月行われる水泳の全国大会ジュニアオリンピックに出場出来る事になりました。私も父親兼監督として頑張ってきますので、応援ください！

川口 義弘会員

新会員紹介をさせていただきます。

高橋 賢司会員

今後共よろしくお願いたします。

河戸三千之会員

米山記念奨学会委員長、大石様をお迎えして。まだ寄付をお済ませいただけてない方も多数いらっしゃいますが、早めにご対応をよろしくお願い致します。

竹田 行宏会員

担当例会を終えて。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL(0125)22-3344

FAX(0125)24-2755



グリーンマーク

クラブ会報は再生紙を使用しています。